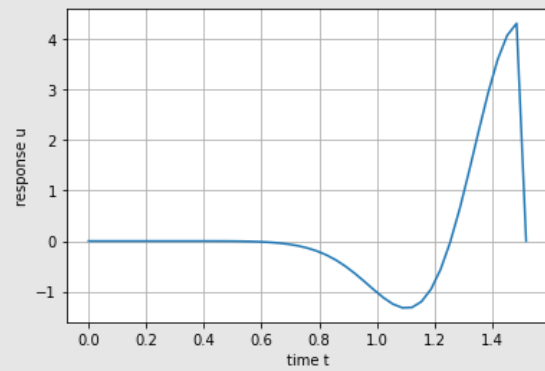
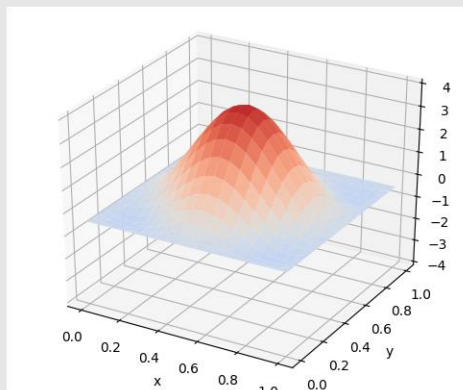
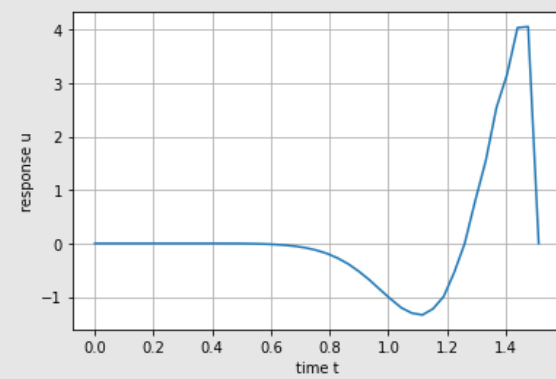
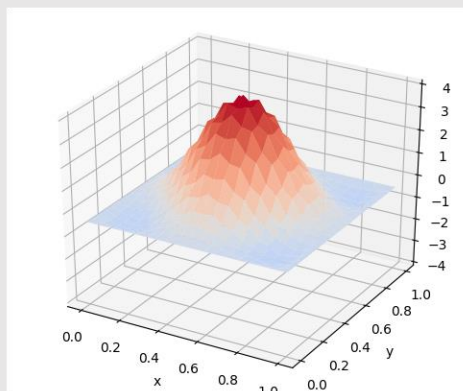


レポート 5 (2) 図と考察 J4-210553 小寺伊織

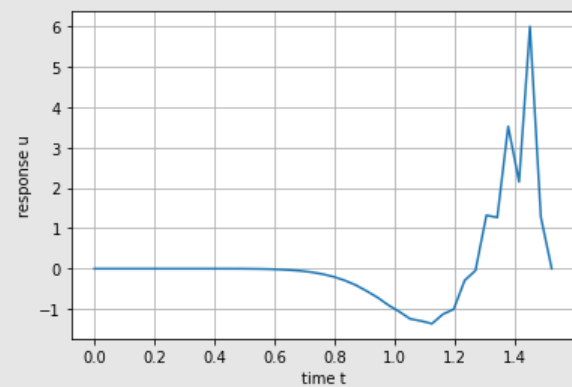
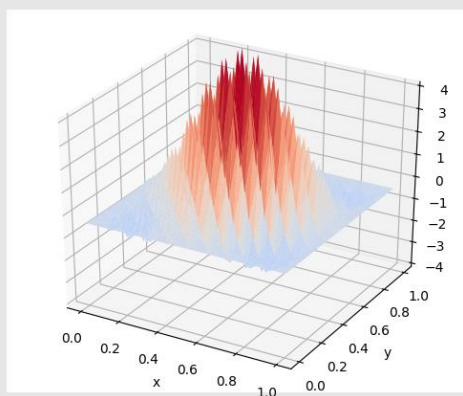
$t = 0.033$



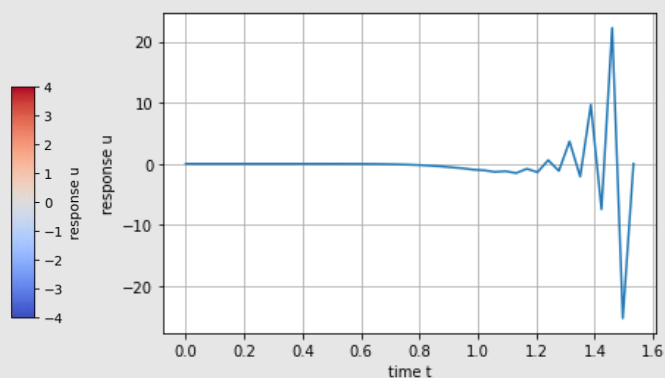
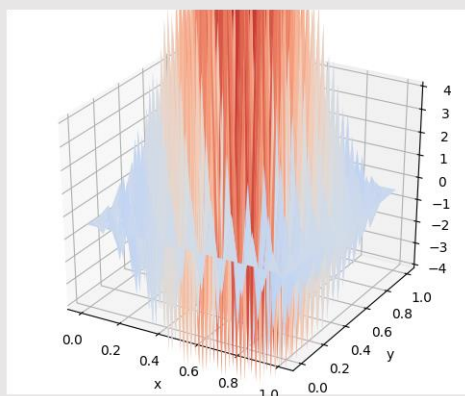
$t = 0.036$



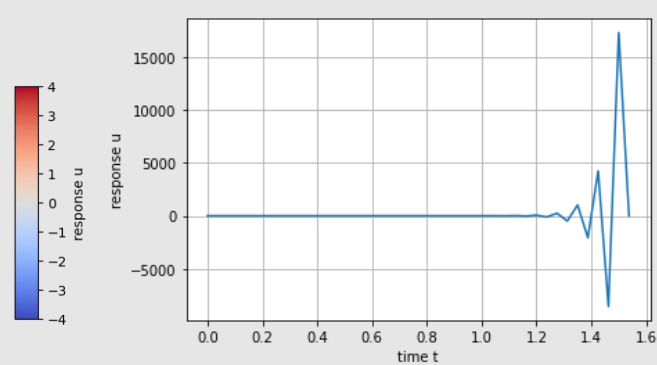
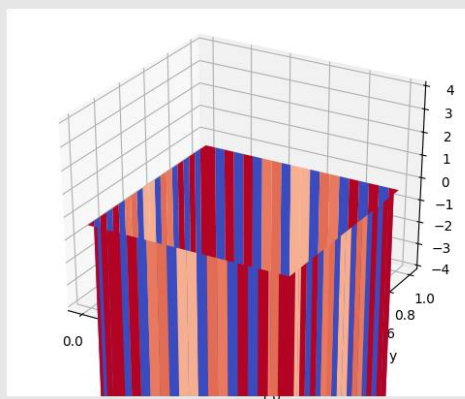
$t = 0.03625$



$t = 0.0365$



$t = 0.0375$



dt を変化させたときの2つ目のグラフに注目すると、 dt が大きくなるほど（近似が荒くなるほど）グラフが乱れ始めるタイミングが早い。つまり、粗い近似をするほど、誤差の影響が出るのが早くなると言える。